

国際交流室の活動

国際交流室 守 隆 夫（動物学教室）

理学部に国際交流室が発足してから約二年半になりましたが、これまでの主な活動の経過を、反省と希望を交じて報告させていただきます。

発足当時は留学生諸君の希望をお聴きするため、

なかば強制的に各自指定された日に集まっていたが、話し合いを行っておりました。しかし、理学部の外国人留学生の多くは大学院生であるところから、それぞれの授業、研究、セミナー等があ

り、来られない場合が多いことと、学生諸君の希望もだいたい分ったので、年度初めなど特定の時を除いてこの種の集まりは行っておりません。そこで、これに代るものとして、せっかく世界各地から来られているわけですから、お国自慢という意味をこめて、スライドを用いて出身地の風物を紹介していただきました。キューバ、エジプトなど、比較的留学生の数も少なくない国の方々に演者をお願いしましたところ、とても興味深い、かつ有意義な紹介をしていただくことが出来ました。残念ながら参会者数はそれほど多くはありませんでした。せっかく数多くのスライドを用意していただき、大使館からわざわざ取り寄せた資料などを持参された演者に対して、10人以下の聴衆では申し訳ないところから、この試みは現在中断しております。

せっかくの機会でありますから学問的な問題について、セミナー等をすればよいとの御指摘もあるとは思いますが、理学部という特殊性から留学生諸君の専攻分野がそれぞれ違っているので、いわゆる勉強会的な集りを希望する声は全くなかったことと、適当な教官あるいは学生の方に講師をお願いしても、これまた10人以下の聴衆ではあまり意味のあるセミナーとはならないものと考えている次第です。各教室の活動がばらばらな上、自分の研究が一番おもしろくなる大学院生を主としている関係から、特定の日に多くの学生諸君に集まっていたことは不可能に近いわけです。国際交流室としては、いつでも相談に応じることになっており、事実、時折相談もあります。その為の専用の部屋があるわけでもなく、研究室に来ていただくことになり、少し抵抗を感じられることと思います。そこで専用の部屋でもあれば、それなりに集まりを開く時間の工夫も出来ますし、

学生諸君も溜り場として気軽に出入りされ、お互いに知り合う機会も増えるものと思われます。今までは大学院掛の方の御努力で、空いた部屋を探していただき使用していたわけで、集まれる日もそれなりに決まってしまう次第です。

留学生諸君から出された希望で一番多かったのは、留学生がまとまって旅行に行きたいというものでしたが、これには費用、日時その他色々問題があって、遠出は不可能と思われます。旅行とは言い難いのですが、留学生同志の親睦をかねて見学会を企画したところ、それなりの御支持を得ました。しかし、それでも費用のかからない所という条件から、行かれる場所も限られてしまい、校内の資料館や大学院掛の方の御努力で無料にいただいた国立科学博物館などでした。この他に歩いて行ける距離にあり、低料金で入場できる場所があれば、ぜひお知らせ下さるようこの場を借りてお願いいたします。

我々の努力不足もあるでしょうが、色々な企画に参加して下さる方の数が少ないのが悩みの種です。しかし、留学生をお世話下さるチューターの方々がしっかりと相談相手になっており、また留学生の属す研究室の学生諸君もそれぞれお世話して下さるため、それほど問題となる相談事もないわけで、これはむしろ良い事と思っております。それでも我々では如何ともしがたい住宅、奨学金の問題など、社会問題ともなっている在日外国人の苦境はごく身近にあることを認識され、日本人の学生諸君は親身になって留学生諸君に接して下さるようお願いいたします。

最後に、留学生の方からはこんな事をしてほしいという御希望、指導教官の方からはこんな事をしたらという御意見を、どんどんお寄せ下さることを希望しております。